

単元名 言葉のリズムや抑揚を生かして表現してみよう

配当時間 3時間

- 単元の目標 (1) 言葉のリズム、反復や組み合わせによるつながり方の特徴を理解するとともに、課題に沿った言葉を選択し組み合わせる技能を身に付けることができる。
- (2) 言葉のリズムや反復の組み合わせによるつながり方の特徴についての知識や、課題に沿った言葉を選択し組み合わせる技能を得たり生かしたりしながら、まとまりのある創作表現を創意工夫することができる。
- (3) 創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、まとまりのある創作表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組もうとする。

標準的な展開例

12260103_001

【教材名】言葉のリズムや重なり方を活用する旋律づくり (下 P. 22～P. 23)

【準備等】メトロノーム、ワークシート、タブレット、デジタル教科書

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 言葉のつながり方を工夫しながら3種類のラーメンの旋律をつくって表現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○速度の設定と八分音符を【ツ】と発音することを確認し基盤となる拍を感じ取る。 ○「基本のリズム」を意識しながら、例示の「みそラーメン」の旋律を表現する。 ○「みそラーメン」の旋律を表現し、言葉とリズムの関係を理解する。 <p>★3種類のラーメンを表現しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各自で例示の3種類のラーメンの旋律をつくる。 ○つくった旋律をグループ内で発表し合い、自分の作品をもう一度検討する。 <p>2 言葉や旋律の重なり方を理解し、指定された言葉から選択して旋律をつくり表現する。</p> <p>★具材の言葉のリズムを生かして旋律をつくらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「もやし」「ラーメン」「煮卵」の言葉のリズムによる例示の旋律を表現する。 ○例示の旋律と「みそラーメン」の旋律を合わせて表現し重なり方を理解する。 ○各自でトッピングの言葉を選び、旋律をつくる。 ○つくった旋律をグループ内で発表し合い、自分の作品をもう一度検討する。 <p>3 つくった旋律をさまざまに重ねて表現し、ラーメンに関係する言葉を選び直したり、リズムや反復の仕方を変えたりして、もう一度旋律をつくり直す。</p> <p>★旋律を重ねて表現しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○活動1と活動2でつくった旋律の重ね方を工夫し表現する。 ○表現して気が付いたことや面白い作品になったものをワークシートにまとめる。 ○これまでの学習を生かして、ラーメンの種類やトッピングの言葉を変えたり、つくった旋律をつくり直したりする。 ○少人数のグループ内で、旋律のつなげ方や重ね方を工夫して表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まなびリンクを活用し、「基本のリズム」を聴かせる。メトロノームで指定された速度を提示し、表現させる。 ・まなびリンクを活用し、例示されている「みそラーメン」の三つの旋律を聴かせる。学級全体または少人数のグループで表現させて再確認させる。 ・メトロノームで速度を確認しながら、「ツ」「ター」「ツク」で表現するグループと、「みそラーメン」の旋律を表現するグループに分け、交互に表現させる。 ・ワークシートに記入させる。 <p>【評】言葉のリズムを理解し、課題に沿った言葉を選択する活動を通して、「技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検討した作品を再度グループで交流させたりグループの代表作を決めて学級全体で発表し合ったりさせる。 ・デジタル教科書P. 22活動1で、生徒がつくった作品を提示しながら表現してもよい。 <ul style="list-style-type: none"> ・まなびリンクを活用し、例示の旋律を聴かせる。 ・メトロノームで速度を確認しながら、ラーメンの旋律を「ツ」「ター」「ツク」で表現するグループと、具材の言葉のリズムを「ツ」「ター」「ツク」で表現するグループに分け交互に表現させる。 ・ワークシートに記入させる。 <p>【評】言葉のリズムを理解し、課題に沿った言葉を選択する活動を通して、「知識」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検討した作品を再度グループで交流させたりグループの代表作を決めて学級全体で発表し合ったりさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・強弱やバランスなどを工夫させる。 ・交流したことは板書し、全体で共有させる。 <p>【評】旋律をつくるための知識や技能を得たり生かしたりしながら、まとまりのある創作表現を創意工夫する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あらためてワークシートに記入する。 <p>【評】まとまりのある創作表現を創意工夫する学習に主体的に取り組む活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【 備 考 】

本ユニットでは、ラーメンに関する言葉を選択して、言葉のリズムを生かして反復させたり組み合わせたりし、まとまりのある旋律をつくる学習を展開する。「言葉を生かし」とは、言葉のリズムや抑揚を感じ取り、旋律のつながり方や反復によるまとまりを考えることである。いくつかの言葉の組み合わせや旋律の重なり方を工夫し、ラーメンに関する言葉による短い作品をつくらせたい。

【共通事項】リズム・テクスチャ・構成